学校保健計画は、毎年度、見直しをしながら、より良いものにしていきましょう!

学校保健に関わる人たちを結ぶために

実態を 把握 しよう!

目的を 明確に しよう!

方向性を 明確に しよう!

共通理解を図ろう!

相談 協力者を 見つけよう!

意識・意欲 を高める 働きかけを しよう!

学校教育目標

学校保健目標 今年度の重点目標

学校・ 児童生徒等 の実態

年間計画

学校保健計画は、学校保健の年間を見通した総合的な基本計画ですが、各学校・児童生徒等の実態に応じた課題を踏まえて決定された学校保健目標や重点目標の達成に向けた計画となるとよいでしょう。

- ①情報収集:作成方針決定
- ②目標・活動内容の設定
- ③各組織との連絡・調整

学校保健計画の決定

④計画の実施状況と課題と なっている原因の把握

⑤評価・改善の実践

次年度への確実な引継ぎ



学校の状況·前年度の学校保健の取組状況等を踏まえて、計画しましょう。

健康課題解決に向けて、 学校、家庭、地域、関係機 関等を結び、実効性のある「学校保健委員会」を 運営しましょう。



毎年度、見直し、より良い学校 保健計画にするために、評価を 充実させましょう。







発 行 島根県教育庁保健体育課健康づくり推進室

島根県松江市殿町1番地 TEL:0852-22-6145 FAX:0852-22-6767 ホームページ https://www.pref.shimane.lg.jp/hokentaiku/kenkousuisin/



学校保健計画策定の手引

~しまねっ子元気プラン~

概要版

目標

学校、家庭、地域、関係機関等が連携し、子どもの健康課題の解決を 図るとともに、子ども自身の生涯にわたる健康づくりの力を育くもう!

しまね教育振興ビジョン



学校の実態にあわせて優先順位をつけた健康課題を学校保健計画に位置付けて、 計画的に取り組みましょう。

◆ 手引の位置付け

学校保健安全法第5条に基づき、学校保健計画を毎年度策定·見直しするための手引です。

◆ 推進体制

島根県教育委員会では、「しまね教育振興ビジョン」の理念に基づき、各種計画と目的や目標を共有し、学校保健活動を推進します。

◆ 期間

令和7年度から令和11年度の5年間とします。

令和7年3月 **島根県教育委員会**





学校の実態を踏まえ、児童生徒等や教職員の健康の保持増進や自校の健康課題の解決につながる学校保健計画を作成しましょう!!

めざす子ども像

心と体の変化について、早めに・気軽に相談できる子

課題1 心の健康問題への対応

- 心や体調の変化の早期発見・早期支援を推進するため、校 内委員会(組織)会議を定例化する。
- 校内委員会(組織)会議を定例化して開催している学校の割合(%)

直(R11)
00
00
00
00

児童生徒の心や体調の変化の早 期発見・早期支援のため、校内委 員会(組織)会議の定例化に重点 を置いた。

- 学校医、SC、SSW等と連携を図り、心の健康問題に関する 教職員研修を行う。
- 心の健康問題に関する教職員研修を行っている学校の割合(%)

	現状(R5)	目標値(R11)
小学校	78.6	100
中学校	76.1	100
高等学校	66.7	100
特別支援学校	64.7	100

現状が目標値に達成し ていないため、第3次に 引き続き目標とした。



めざす子ども像

よく寝て、運動を楽しみ、望ましい生活を送れる子

課題2 望ましい生活習慣の確立

- 発達段階に応じた「適正な睡眠 時間の確保」を目指す。
- 睡眠時間8時間未満の割合(%)

小学校 12.6 8.0 中学校 51.9 46.0		現状(R5)	目標値(R11)
中学校 51.9 46.0	小学校	12.6	8.0
	中学校	51.9	46.0
高等学校 76.0 68.0	高等学校	76.0	68.0

①睡眠に対しての意識が高まることを目指して設定した。 ②第3次で悪化傾向にあったため、引き続き目標とした。

- 1週間を通して、身体活動を行う 習慣の確立を目指す。
- 1 運動を毎日する児童生徒の割合(%)

		現状(R5)	目標値(R11)
小学校	男子	62.8	65.0
5年	女子	43.8	45.0
中学校	男子	82.8	85.0
2年	女子	59.7	65.0
高等学校	男子	70.8	75.0
2年	女子	40 4	45.0

- 専門医や専門家などの外部指導 者を活用する。
- 2 平日学習以外で1日2時間以上スマ ホ、PC等を見る割合(%)

		現状(R5)	目標値(R11)
小学校	男子	66.3	
5年	女子	57.5	減らす
中学校	男子	69.2	//9(-) 9
2年	女子	66.4	

- 運動やスポーツが「好き」と思う 児童生徒を増やす。
- ② 運動やスポーツが「好き」の割合(%)

		現状(R5)	目標値(R11)
小学校	男子	76.3	80.0
5年	女子	53.9	60.0
中学校	男子	63.9	70.0
2年	女子	41.0	47.5

①②第3次で達成できなかったため、 向上を図るために設定した。

めざす子ども像

朝食をしっかり摂って、朝から元気に過ごせる子

課題3 食に関する指導の推進

- I 食育の取組の充実を図る。
- ◆ 食に関する指導の全体計画作成率(%)
 - ② 児童生徒の朝食の欠食率(%)

	現状(R5)	目標値(R11)
小学校	94.9	100
中学校	94.6	100
高等学校	43.6	100
特別支援学校	100	100

- ①目標値に近くなってきているが、学校全体 で引き続き目指す目標として設定した。
- ②より一層の指導の充実が求められるため、 第3次に引き続き目標とした。
- 現状(R5) 目標値(R11) 7.8 0 小学校 5年 0 女子 8.1 5.0 男子 9.1 中学校 15.0 5.0 女子 男子 15.6 10.0 高等学校 2年 女子 20.0 10.0
- Ⅱ 個別的な相談指導を充実させる。
- 肥満傾向にある子どもの割合(%)
- 「健康長寿しまね推進計画」の 目標値と共有している。



現状(R5) 目標値(R11) 小学校 男子 8.43 5年 女子 9.59 男子 7.83 中学校 減らす 2年 女子 7.36 高等学校 男子 14.15 2年 女子 7.73

めざす子ども像

食後の正しい歯みがきで、歯を大切にできる子

課題4 歯と口の健康づくりの推進

- むし歯(う歯)予防、歯肉炎予防のための歯磨き等、発達段階に応じた歯科 保健指導を推進する。
- 1 むし歯(う歯)罹患率(%)
- ② 歯肉に所見がある割合(%)

		現状(R5)	目標値(R11)	
小学校	男子	44.0	38.0	
5年	女子	42.9	34.3	
中学校	男子	30.5	25.0	
2年	女子	33.8	28.1	
高等学校	男子	42.7	35.1	Ē
2年	女子	48.0	38.4	

		現状(R5)	目標値(R11)	①全国平均と比べ
小学校	男子	3.64		るとやや高いた め、引き続き目標
5年	女子	3.08		とした。
中学校	男子	6.98	減らす	②県の「第3次歯と
2年	女子	5.40	ルスンタ	口腔の健康づくり計画」の目標値
高等学校	男子	3.10		と共有している。
2年	女子	1.06		

- るとやや高いた め、引き続き目標 とした。 ②県の「第3次歯と 口腔の健康づく り計画1の目標値 と共有している。
- 歯科健診等の機会を捉えた学校歯科医や歯科衛生士と連携した歯科保健 指導を推進する。
- 学校歯科医や歯科衛生士と連携した歯科保健指導の実施(%)

	現状(R5)	目標値(R11)
小学校	61.7	100
中学校	47.8	100
高等学校	35.8	100
特別支援学校	47.1	100

個々の課題解決に向けて、歯科健 診等の機会を捉えた学校歯科医 や歯科衛生士と連携した歯科保 健指導に重点を置いた。

めざす子ども像

自分や周りの人を大切にし、互いに理解し合える子

課題5 性に関する指導の推進

- 学校保健計画に性に関する指導を位置付ける、又は性に関 する指導の全体計画を作成する。
- 性に関する指導を組織的に取り組んでいる学校の割合(%)

	現状(R5)	目標値(R11)
小学校	93.4	100
中学校	90.2	100
高等学校	51.3	100
特別支援学校	70.6	100

全体計画の作成ではな く、組織的な取組に重点 を置いた目標とした。



- 専門家と連携した指導(集団又は個別)を実施する。
- 関係機関や専門家と連携した性に関する指導を行っている割合(%)

	現状(R5)	目標値(R11
小学校	65.8	75.0
中学校	94.6	95.0
高等学校	84.6	95.0
特別支援学校	70.6	80.0

第3次では改善傾向にあったが、 目標値まで達成していないため、 引き続き目標とした。

めざす子ども像

正しい知識を理解し、「イヤッ!」「ダメッ!」と言える子

課題6 喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育の推進

- 中学校・高等学校で薬物乱用防止教室を年1回開催する。 (小学校は開催を推進する。)
- 薬物乱用防止教室の実施率(% 第3次では達成できず、中・高で全校 催を目指して設定した。

		現 祆(₹5 <i>)</i>	日標旭(RTT)
6)	小学校	51.0	80.0
開	中学校	68.5	100
	高等学校	80.6	100

- 家庭や地域等と連携して、発達段階に応じた薬物乱用防止教育 を実施する。
- 「20歳になった時にたばこを吸ってい ない」と思う児童生徒の割合(%)
- 2 10代の飲酒経験率(%)

		現状(R5)	目標値(R11)			
小学校	男子	83.8	100			
5年	女子	87.7	100			
中学校	男子	84.8	100			
2年	女子	92.6	100			
高等学校	男子	88.8	100			
2年	女子	93.7	100			

			現状(R5)	目標値(R11)
	小学校 5年	男子	27.5	0
		女子	23.6	0
	中学校	男子	20.1	0
	2年	女子	16.5	0
	高等学校 2年	男子	29.5	0
		女子	22.0	0

①②「健康長寿しまね推進計画」、「健やか親子しまね計画」の目標値と共有している。